

修学旅行の反省を日常生活に!!

【学年のまとめ】

中学校の校外学習の集大成となる修学旅行では、学年スローガンの、正義を通し初めから全力で行動しよう。～仲間とともに最高の思い出を～や行動目標を意識し達成することはできましたか。

今回の修学旅行では、一人ひとりが全力で楽しみ、自分を表現できるなど成長できた所もありました。しかし、しおりを読めていない、時計を見ていなくて時間に遅れる、バスの中や機内でのマナーがよくなかったり、班でまとまって行動できていないなど、多くの課題が出ました。これは一人ひとりが意識をすれば出なかった課題だと思います。これから中学校生活最後の二大行事があります。日常生活から今回出た課題を意識し、改善できるようにしましょう。

実行委員代表

達成感と後悔**1組**

私は今、達成感と後悔する気持ちが入り混じっている。達成感というのは、自分の係の仕事をきちんとこなすことができたからだ。また、班での基本隊形のととき、素早くきれいに並ぶことができた。私は1組1班で移動する時にはいつも先頭だったので、とても良かったと思う。

後悔する気持ちはたくさんあるが、主に2つある。一つ目は、自分で考える力が不足していたことだ。これは学年全体でいえると思う。私もよく人に「これであってやんな？」など聞いていた。失敗することを恐れていたのだと思う。今、考えると「自分で考えろ!」と怒られるのは、小学生が言われることなので、とても恥ずかしく思う。2つ目は、気配りができなかったことだ。もし、できていたら、修学旅行で怒られることはゼロになっていたと思う。自分の班ができていても自分のクラスを、自分のクラスができていたら他のクラスを、というふうにみんなを助けていくべきだった。自分の班ができていても学年全体ではできていることにはならないことに気づいた。集大成となった修学旅行だったけど、先生方の期待を裏切ってしまった。今までの行事でも、自分で考える力や気配りはできていなかったように思う。「初めから全力で」という課題に取りつかれていたのではないのだろうか。そう考えてみると、視野を広くするというのも課題だと思う。



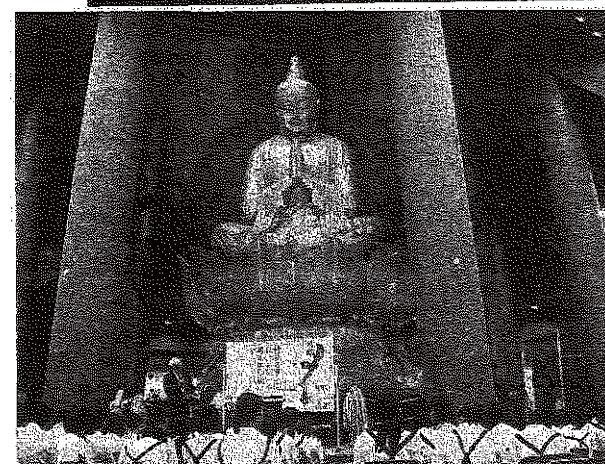
機内でのようす
離陸時・着陸時思わず拍手が!!



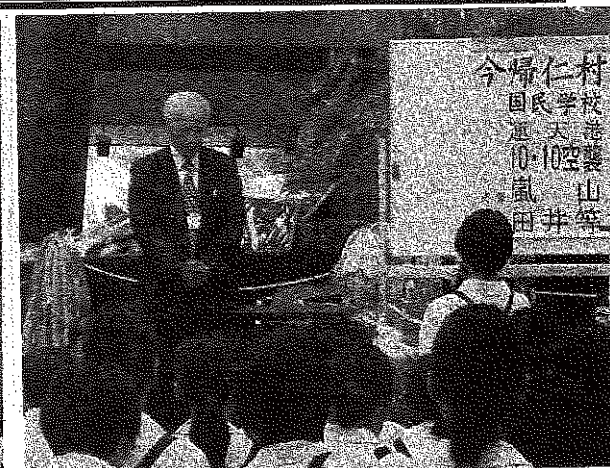
ヌヌマチガマでガマ体験
1分間の暗闇体験は貴重でした

**沖縄に来て良かったぞ!****2組**

修学旅行では、マリン体験など遊ぶだけではなく、平和講演会、ガマ体験を通じて「平和の大切さ」を学ぶことができました。ヌヌマチガマは、非常に暗くて地面が滑りやすく、こんな環境で過ごしていたとは思いませんでした。平和講演会では、講師の方が平和についてのお話をしてくださいました。その中で印象に残った言葉は、「ぜいたくは敵だ」という言葉です。なぜなら、その時代の状況を表しているように思えたからです。民泊体験は、僕が一番楽しいと思えた体験でした。沖縄で有名な料理などをつくり食べて、とても楽しかったです。他にもたくさんの方言などを教えてくださって、来て良かった、と改めて感じました。それと、初めての飛行機だったので離陸の時は、まあまあ怖かったです。沖縄に来て良かったと思いました。



平和祈念堂で、長田勝哉さんから
当時10歳だった頃のお話を。



心のこもった合唱でした。「ふるさと」
は、一緒に口ずさまれ、涙を流しておられました。